

# 教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第42号 H29. 12. 6

茨城県教育研修センター  
教科教育課  
☎0296-78-3213 (直通)



## 中堅教諭等資質向上研修講座（小中高，環境教育・ESD）の様子を紹介します

11月29日（水）に、「中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修（小中高，環境教育・ESD）」を実施しました。

講座では、立教大学教授、ESD活動支援センター長の阿部 治先生による講義、演習・研究協議として「ESDの視点を取り入れた学習指導のプログラム作成」が行われました。

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。（文科省HPより）

### 講義「学校におけるESD教育の進め方」



阿部先生から、次期学習指導要領からみたESDの意義について御指導をいただきました。受講者からは、「今までESDをどのように捉えるのか不明な点が多かったが、今日の講義のおかげで理解することができた。」等の感想が寄せられました。

### 「世界の諸地域アジア州」 中学校1年 社会

受講者からは、「社会科はESDの要素が多く含まれることを講義や演習を通して実感することができた。」等の感想が寄せられました。



### 演習・研究協議

#### 「ESDの視点を取り入れた学習指導のプログラム作成」

#### 「環境とわたしの暮らし」 小学校5年 社会



#### 「防災マップを改良しよう」 高等学校2年 総合



### 「遺伝子を扱う技術について調べよう」 中学校3年 理科

受講者からは、「ESDの視点（構成概念や態度・能力）を明確化し、整理していくことが大切であると感じた。」、「理科だけでなく総合的な学習の時間や道徳の授業にも活用できると思った。また、広い視点をもって学習指導をすることで生活や未来へと結び付き、子供たちのためになると感じた。」等の感想が寄せられました。

